



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨコオ

コード番号 6800 URL <http://www.yokowo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 横尾 健司

TEL 03-3916-3111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	21,995	8.6	658	5.8	798	157.9	501	—
24年3月期第3四半期	20,258	△3.2	622	△51.6	309	△65.7	△20	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 771百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △346百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	25.07	—
24年3月期第3四半期	△1.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	23,181	15,581	67.2
24年3月期	22,895	15,010	65.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 15,581百万円 24年3月期 15,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	6.00	9.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	3.8	950	4.1	800	13.4	450	32.1	22.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	20,849,878 株	24年3月期	20,849,878 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	844,788 株	24年3月期	844,597 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	20,005,223 株	24年3月期3Q	20,005,355 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国における経済指標の改善など一部に明るさが見えてきましたが、欧州債務危機の動向や中国・インド等新興国経済の成長鈍化の影響により、減速傾向が強まることとなりました。

わが国におきましては、世界的な景気減速や日中関係悪化の影響などによる輸出・国内生産の減少などから、景況感が悪化傾向となりましたが、昨秋以降の円安方向への転換などにより、輸出産業を中心に企業の業績好転や設備投資回復などの動きが拡大しつつあります。

当社グループの主要市場である自動車市場、半導体検査市場、携帯端末市場におきましては、市場全体の成長率鈍化が見込まれる中であって拡大の続く環境対応車・スマートフォン等関連分野での事業成否が、企業間の優劣劣敗を大きく左右する状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、経営基本方針に掲げる3つのイノベーション（プロダクト/プロセス/パーソネル）の推進に取り組み、各事業における戦略製品の開発・提案や、車載通信機器セグメントにおける中国工場との2大生産拠点体制確立に向けたベトナム工場本格稼働、回路検査用コネクタセグメントにおけるサプライチェーンの収益力強化に向けたマレーシア工場生産設備増強などに注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、車載通信機器・回路検査用コネクタセグメントの伸長率が当第3四半期（平成24年10月～12月）において鈍化したものの、無線通信機器セグメントが大幅に伸長したことにより、219億9千5百万円（前年同期比+8.6%）となりました。営業損益につきましては、製品・事業構成の変化等による利益率低下、中国における労務費増加、操業度低下に伴う固定費比率上昇などにより、6億5千8百万円の利益（前年同期比+5.8%）と、前年同期比で比較的小幅な増益にとどまりました。経常損益は、円安への反転・進行に伴う為替差益1億2千2百万円の計上などにより、7億9千8百万円の利益（前年同期比+157.9%）と、前年同期比で大幅な増益となりました。四半期純損益は、国内外子会社の増益などに伴う税金費用の増加があったものの、経常増益を受け、5億1百万円の利益（前年同期比5億2千1百万円の増加）と、前年同期比で大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<車載通信機器>

当セグメントの主要市場である自動車市場は、中国・インド・ブラジルなど新興国の経済成長が減速しつつあるものの、着実に拡大を続けております。一方、国内におきましては、エコカー補助金制度の終了に伴い新車販売が減少したほか、日中関係悪化の影響により中国向け完成車の輸出・生産が減少いたしました。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるマイクロアンテナをはじめとする自動車メーカー向け製品の販売は、当第3四半期（平成24年10月～12月）において減少いたしましたが、上期の大幅増収が寄与し、当第3四半期連結累計期間では前年同期を上回りました。一方、国内向けを主とするフィルムアンテナの販売は、地デジ化対応需要の一巡などにより前年同期を大きく下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は125億6千4百万円（前年同期比+10.5%）と、前年同期比で増収となりましたが、伸長率は低下いたしました。セグメント損益につきましては、1億8千1百万円の利益（前年同期比3億4千1百万円の増加）となりました。

<回路検査用コネクタ>

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、順調に成長を続けるスマートフォンやクラウドコンピューティング関連分野では検査需要が拡大しておりますが、それ以外の分野では、世界的なパソコン販売不振などから、検査需要が減少する傾向にあります。

このような状況の中、ユニットリング・ウエハ検査用垂直プローブカードの販売は前年同期を大幅に上回りましたが、当社グループの主力製品であるIC検査用BGAソケットの販売は、前年同期を上回ったものの、一部顧客の販売不振に伴う受注減などにより、伸長率は鈍化いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は40億8千7百万円（前年同期比+7.2%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、1億9千1百万円の利益（前年同期比△42.6%）となりました。

<無線通信機器>

当セグメントの主要市場である携帯端末市場は、順調に利用拡大が進むスマートフォン/タブレット端末に牽引され、成長が続いておりますが、セットメーカーなど供給側においては、競争優位の世界大手数社による寡占化が進んでおります。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、新規取引獲得が売上に寄与しましたが、一部の海外大手顧客からの受注の低迷が響き、売上高は前年同期を

下回りました。

携帯電話機向けアンテナ事業につきましては、海外大手顧客のスマートフォン/タブレット端末新機種への採用拡大により内蔵メインアンテナ/サブアンテナの受注が第2四半期に急伸、当第3四半期においても好調に推移し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

当セグメントに含めておりますメディカル・デバイス事業につきましては、重点拡販製品の見直しなどによる一時的な販売減少がありました。ガイドワイヤユニット等組立加工ビジネスの着実な拡大により、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は53億4千3百万円（前年同期比+5.3%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、3億8千1百万円の利益（前年同期比+13.2%）となりました。

（事業セグメント別連結売上高 前年同期比較） (単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 自平成23年4月 至平成23年12月	当第3四半期 連結累計期間 自平成24年4月 至平成24年12月	前年同期比
	売上高	売上高	増減率
車載通信機器	11,371	12,564	+10.5
回路検査用コネクタ	3,812	4,087	+7.2
無線通信機器	5,074	5,343	+5.3
合計	20,258	21,995	+8.6

（事業セグメント別連結売上高 四半期別推移） (単位：百万円)

	第1四半期 連結会計期間 自平成23年4月 至平成23年6月	第2四半期 連結会計期間 自平成24年7月 至平成24年9月	第3四半期 連結会計期間 自平成24年10月 至平成24年12月
車載通信機器	4,588	4,102	3,873
回路検査用コネクタ	1,434	1,411	1,241
無線通信機器	1,399	1,968	1,975
合計	7,421	7,482	7,091

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産増加6億1千1百万円、たな卸資産増加3億7千8百万円、無形固定資産増加2億2千5百万円などに対し、売上債権減少5億8百万円、現金及び預金減少2億3千4百万円、投資有価証券減少2億3百万円などにより、231億8千1百万円（前連結会計年度末比2億8千6百万円の増加）となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、短期借入金増加1億円、未払法人税等増加5千8百万円などに対し、1年内返済予定の長期借入金減少2億円、賞与引当金減少1億7千万円などにより、75億9千9百万円（前連結会計年度末比2億8千5百万円の減少）となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益5億1百万円の計上、為替換算調整勘定増加3億8千9百万円などに対し、その他有価証券評価差額金減少1億1千8百万円、配当金の支払2億円などにより、155億8千1百万円（前連結会計年度末比5億7千1百万円の増加）となりました。

（自己資本比率）

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は67.2%（前連結会計年度末比+1.7ポイント）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の第4四半期連結会計期間(平成25年1月～3月)における当社グループの経営環境は、世界的な景気減速により当社主要市場が停滞傾向にある中、厳しさを増しておりますが、当連結会計年度の通期業績予想につきましては、主要顧客個々の業績動向などによる短期的な受注増減や為替相場変動の可能性なども考慮し、前回(平成24年11月8日)公表の通期業績予想を据え置くことといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,830,100	3,595,837
受取手形及び売掛金	6,834,509	6,325,937
商品及び製品	1,254,119	1,467,300
仕掛品	473,565	499,395
原材料及び貯蔵品	1,170,616	1,309,954
その他	890,020	882,475
貸倒引当金	△2,225	△1,574
流動資産合計	14,450,707	14,079,326
固定資産		
有形固定資産	5,377,742	5,989,126
無形固定資産		
その他	799,496	1,024,974
無形固定資産合計	799,496	1,024,974
投資その他の資産	2,267,273	2,087,958
固定資産合計	8,444,512	9,102,058
資産合計	22,895,220	23,181,384
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,650,958	3,635,169
短期借入金	400,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	—
未払法人税等	57,707	116,064
賞与引当金	325,459	154,574
その他	1,604,915	1,547,825
流動負債合計	6,239,040	5,953,633
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付引当金	318,718	312,360
その他	827,329	833,538
固定負債合計	1,646,048	1,645,899
負債合計	7,885,088	7,599,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	8,708,027	9,009,440
自己株式	△991,126	△991,203
株主資本合計	15,695,098	15,996,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175,566	56,826
為替換算調整勘定	△860,533	△471,410
その他の包括利益累計額合計	△684,967	△414,583
純資産合計	15,010,131	15,581,851
負債純資産合計	22,895,220	23,181,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	20,258,698	21,995,391
売上原価	15,879,456	17,442,939
売上総利益	4,379,241	4,552,451
販売費及び一般管理費	3,756,933	3,894,349
営業利益	622,308	658,102
営業外収益		
受取利息	6,055	5,475
受取配当金	39,116	33,436
為替差益	—	122,495
その他	31,035	33,006
営業外収益合計	76,206	194,414
営業外費用		
支払利息	32,228	25,232
支払手数料	13,750	12,639
為替差損	322,254	—
リース解約損	—	11,213
その他	20,716	5,114
営業外費用合計	388,948	54,200
経常利益	309,566	798,316
特別利益		
固定資産売却益	1,027	652
投資有価証券売却益	—	417
特別利益合計	1,027	1,069
特別損失		
固定資産売却損	2,703	3,100
固定資産除却損	47,723	12,814
投資有価証券評価損	187,907	334
その他	34,372	—
特別損失合計	272,706	16,249
税金等調整前四半期純利益	37,887	783,136
法人税、住民税及び事業税	83,896	207,033
法人税等調整額	△25,912	74,636
法人税等合計	57,984	281,670
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20,097	501,465
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,097	501,465

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△20,097	501,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,591	△118,739
為替換算調整勘定	△282,021	389,123
その他の包括利益合計	△326,613	270,383
四半期包括利益	△346,710	771,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△346,710	771,849
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,371,500	3,812,993	5,074,203	20,258,698	—	20,258,698
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	130,617	—	130,617	△130,617	—
計	11,371,500	3,943,610	5,074,203	20,389,315	△130,617	20,258,698
セグメント利益又は損失(△)	△159,733	333,500	336,923	510,690	111,618	622,308

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	510,690
たな卸資産未実現利益調整額	29,178
たな卸資産評価減調整額	17,375
その他調整額	65,063
四半期連結損益計算書の営業利益	622,308

当第3四半期連結結果計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,564,761	4,087,160	5,343,469	21,995,391	—	21,995,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	130,474	—	130,474	△130,474	—
計	12,564,761	4,217,634	5,343,469	22,125,865	△130,474	21,995,391
セグメント利益	181,284	191,432	381,254	753,971	△95,869	658,102

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	753,971
たな卸資産未実現利益調整額	△72,430
たな卸資産評価減調整額	△27,005
その他調整額	3,566
四半期連結損益計算書の営業利益	658,102

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。